

Opinion  
オピニオン

# 日本の官僚は異質か

## 09 政権交代

# 官民交流で多様性めざす英

高田 英樹さん  
国家戦略室(前財務省主計官補佐)



72年生まれ。95年に大蔵省(現財務省)入省。03~06年に英国財務省に出向。体験レポートをネット公開している。

30歳の若さで、英国の財務省に出向した。一環、外に「日本の行政を学ぼう」という希望を出した。

同じ財務省で日本とは随分違いました。最初の出張先が初出動の日、夕方6時になる。職員が夕方に帰る。日本では「朝7時出勤、11時帰宅」が当たり前だった。最初は「朝7時出勤、夕方6時帰宅」が当たり前だった。最初は「朝7時出勤、夕方6時帰宅」が当たり前だった。

# 豪は省益主義は正へ公募制

郭九穂



60年生まれ。専門は財政学、公共政策。95年に大蔵省入省。豪州国立大客員研究員などを経て07年から現職。

豪州の省益主義は、専門的な任命権は大臣にあり、専門性を重視する。豪州では、専門的な任命権は大臣にあり、専門性を重視する。豪州では、専門的な任命権は大臣にあり、専門性を重視する。

英連邦の資格任用システムを採用していたオーストラリアでは、1990年代以降、先遣隊や海外出張の機会の多寡が、採用の重要な要素となってきた。豪州では、専門的な任命権は大臣にあり、専門性を重視する。

## 日本と英国、豪州の官僚制度

	日本	英国	豪州
採用	幹部職(キャリア)と一般職(採用は各府省)	原則として各府省ごとに公募または採用試験。内閣府による幹部候補生試験も	各省別の採用試験。下は共通採用試験も
昇進	採用時の区分により昇進が異なる。人事考課に基づくが、年功序列色が強い	空席ポストへの応募が原則。幹部公務員は公募による昇進が約3割を占める。次官は選考委員会による審査	次官を除く幹部公務員は原則公募。次官は幹部公務員の中から選考
定年など	事務次官などは62歳。一般職は事務系職員が60歳など。公益法人や民間企業への再就職(天下り)も	各府省ごとに決定。課長級以上は原則60歳(延長あり)。公益法人への再就職は公募の試験を経る必要	最低退職年齢は55歳。公益法人や民間企業に転職する例も

## 日本の官僚制をめぐる主な出来事

1868年	明治維新
69	民部、大蔵両省など2官6省に
85	太政官制を廃止し内閣制に
94	第1回高文試験
1925	2大政党の時代(～32)。官僚の党派色強まる
37	革新官僚の出現。同年設立の企画院で国家総動員法など戦時体制の推進役に
45	敗戦。官吏制度の合理化、民主化
46	日本国憲法公布。「天皇の官吏」から「国民全体の奉仕者」へ
47	内務省解体
48	国家公務員法改正。争議行為が禁止に
96	厚生事務次官の収賄事件。98年には大蔵省のノーパーシャムが接待問題と官僚不祥事相次ぐ
01	省庁再編。1府22省庁が1府12省庁に

# 戦前の2大政党期に党派色

水谷 三三さん  
国学院大学教授

44年生まれ。専門は行政学、日本政治史。東京都立大教授を経て現職。著書に「日本の近代 官僚の風貌(ふうぼう)」など。

戦前の2大政党期に党派色が強まった。戦前の2大政党期に党派色が強まった。戦前の2大政党期に党派色が強まった。戦前の2大政党期に党派色が強まった。

## 私の視点

日本福祉大准教授(社会福祉学) 堀場純矢

親の視点から見た子育て。親の視点から見た子育て。親の視点から見た子育て。親の視点から見た子育て。

## 政治コラム

政態拝見 編集委員 星 浩

秋の夜長。民主制の2人の政務官と錦を飾った。秋の夜長。民主制の2人の政務官と錦を飾った。秋の夜長。民主制の2人の政務官と錦を飾った。

## 負の連鎖呼ぶ親の貧困

子ども虐待 負の連鎖呼ぶ親の貧困

親の貧困が子ども虐待の要因となる。親の貧困が子ども虐待の要因となる。親の貧困が子ども虐待の要因となる。